

2021年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL <https://colopl.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 原井 義昭 TEL 03(6721)7770
 定時株主総会開催予定日 2021年12月17日 配当支払開始予定日 2021年12月20日
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期の連結業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	37,125	△17.7	6,320	△48.4	7,843	△33.5	3,047	△61.8
2020年9月期	45,128	16.0	12,250	314.9	11,790	612.3	7,977	645.5

（注）包括利益 2021年9月期 3,148百万円（△62.8%） 2020年9月期 8,461百万円（802.6%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	23.82	23.77	4.0	9.4	17.0
2020年9月期	62.45	62.22	11.0	14.7	27.1

（参考）持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	80,814	75,751	93.7	591.86
2020年9月期	85,833	75,779	88.3	592.81

（参考）自己資本 2021年9月期 75,750百万円 2020年9月期 75,778百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	△3,104	△10,588	△3,200	49,052
2020年9月期	15,010	△2,640	△2,780	65,308

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	25.00	25.00	3,195	40.0	4.4
2021年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	2,559	84.0	3.4
2022年9月期（予想）	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）2022年9月期の配当額は未定であります。

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社インディゴゲームスタジオは、2021年5月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年9月期	129,766,034株	2020年9月期	129,607,536株
2021年9月期	1,778,544株	2020年9月期	1,778,259株
2021年9月期	127,948,756株	2020年9月期	127,741,940株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	27,900	△28.6	5,578	△52.0	5,616	△49.2	1,196	△83.7
2020年9月期	39,061	8.9	11,622	322.9	11,045	906.3	7,346	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期	9.35	9.33
2020年9月期	57.51	57.30

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	76,982	73,566	95.6	574.79
2020年9月期	84,270	75,382	89.5	589.71

(参考) 自己資本 2021年9月期 73,566百万円 2020年9月期 75,382百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「“Entertainment in Real Life” エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionとし、エンターテインメントを通じ、人々の何気ない日常をより豊かにすることを目指しております。既存ゲームについてはユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはそのリリースに向けて注力してまいりました。また、当連結会計年度において、投資育成事業を主要な事業の一つと位置づけました。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (追加情報)」に記載のとおりであります。

また、2017年12月に提起された特許権侵害に関する訴訟について、2021年8月4日付で原告側と和解が成立し、当連結会計年度において、和解金3,300百万円を特別損失に計上しております。

なお、多くの国々で外出や稼働が制限されるなど、消費や企業の経済活動が停滞する状況が続いておりますが、当社グループの新型コロナウイルス感染症による当連結会計年度の業績への影響は限定的です。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は37,125百万円 (前連結会計年度比17.7%減)、営業利益は6,320百万円 (同48.4%減)、経常利益は7,843百万円 (同33.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,047百万円 (同61.8%減) となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

当連結会計年度より報告セグメントの区分を変更しており、当連結会計年度の分析は変更後の区分に基づいております。

a. エンターテインメント事業

エンターテインメント事業は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。

当連結会計年度において、売上の多くを占めるスマートフォン向けゲームでは、他社IPタイトルの「ドラゴンクエストウォーク (企画・制作：株式会社スクウェア・エニックス、開発：当社)」が堅調に推移し、当社グループの連結業績に貢献しました。自社IPタイトルにおいては、主力タイトルである「白猫プロジェクト」は7周年・「白猫テニス」は5周年を迎え、ユーザーとのエンゲージメントを高めるサービス運用をしております。また、国内向けに「ユーージェネ」の正式サービスを開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は36,953百万円、営業利益は6,447百万円となりました。

b. 投資育成事業

投資育成事業は、主にIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

当連結会計年度において、売上高は171百万円、営業損失は129百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は74,430百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が減少したものの、固定資産に計上していた投資有価証券の一部を営業投資有価証券に組み替えたことによる増加であります。

また、固定資産は6,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,269百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の一部を流動資産の営業投資有価証券に組み替えたことによる減少であります。

以上の結果、総資産は80,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,019百万円減少いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は4,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,599百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等及び未払消費税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は141百万円となり、前連結会計年度末に比べ391百万円減少いたしました。これは主に、資産除去債務が減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は5,063百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,990百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は75,751百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払いに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ16,255百万円減少し、49,052百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動により使用した資金は3,104百万円（前連結会計年度は15,010百万円の収入）となりました。主な支出要因は法人税等の支払額4,764百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動により使用した資金は10,588百万円（前連結会計年度は2,640百万円の支出）となりました。主な支出要因は定期預金の預入による支出10,000百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動により使用した資金は3,200百万円（前連結会計年度は2,780百万円の支出）となりました。主な支出要因は配当金の支払額3,192百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期
自己資本比率 (%)	91.5	91.4	92.9	88.3	93.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	215.4	121.3	304.2	133.7	127.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率 (%) : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : キャッシュ・フロー／利払い

(注) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

2022年9月期につきましては、引き続き既存ゲームについてはユーザーとのエンゲージメントを高めることを意識し、新作ゲームについては年間に複数本数提供してゆくことで、持続的な成長を目指してまいります。また、IT関連・エンターテインメント企業等を対象に積極的に投資してまいります。

なお、当社グループを取り巻く事業環境は短期的な変化が激しいことから、当社グループの業績の見通しについては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、業績予想の開示をいたしません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,009	58,871
売掛金	6,977	4,348
営業投資有価証券	—	7,591
商品	63	37
仕掛品	890	690
貯蔵品	3	4
前払金	243	276
前払費用	360	357
その他	694	2,286
貸倒引当金	△62	△34
流動資産合計	74,180	74,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,268	1,101
減価償却累計額及び減損損失累計額	△735	△786
建物及び構築物 (純額)	532	315
工具、器具及び備品	688	700
減価償却累計額及び減損損失累計額	△541	△572
工具、器具及び備品 (純額)	146	128
建設仮勘定	—	40
有形固定資産合計	679	484
無形固定資産		
ソフトウェア	43	29
その他	251	—
無形固定資産合計	294	29
投資その他の資産		
投資有価証券	6,953	2,344
関係会社株式	3	3
関係会社出資金	462	50
敷金及び保証金	1,487	2,132
繰延税金資産	1,620	1,253
その他	152	87
投資その他の資産合計	10,679	5,870
固定資産合計	11,653	6,384
資産合計	85,833	80,814

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22	50
未払金	3,255	2,412
未払費用	190	244
未払法人税等	3,273	292
未払消費税等	1,537	152
前受金	514	850
預り金	192	415
その他	535	502
流動負債合計	9,521	4,922
固定負債		
資産除去債務	446	123
その他	85	17
固定負債合計	532	141
負債合計	10,053	5,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,536	6,556
資本剰余金	6,295	6,296
利益剰余金	67,185	67,037
自己株式	△4,645	△4,645
株主資本合計	75,373	75,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404	461
為替換算調整勘定	-	43
その他の包括利益累計額合計	404	504
非支配株主持分	1	1
純資産合計	75,779	75,751
負債純資産合計	85,833	80,814

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	45,128	37,125
売上原価	24,275	24,108
売上総利益	20,853	13,016
販売費及び一般管理費	8,602	6,695
営業利益	12,250	6,320
営業外収益		
受取利息	46	16
有価証券利息	8	2
為替差益	—	246
投資事業組合運用益	9	12
投資有価証券売却益	192	995
暗号資産売却益	—	542
暗号資産評価益	188	—
雑収入	85	130
営業外収益合計	530	1,947
営業外費用		
為替差損	108	—
投資有価証券評価損	662	51
デリバティブ運用損	148	358
雑損失	71	14
営業外費用合計	991	424
経常利益	11,790	7,843
特別利益		
関係会社株式売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
減損損失	852	291
和解金	—	3,300
特別損失合計	852	3,591
税金等調整前当期純利益	10,938	4,251
法人税、住民税及び事業税	3,375	944
法人税等調整額	△414	258
法人税等合計	2,960	1,203
当期純利益	7,977	3,048
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	7,977	3,047

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	7,977	3,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	484	56
為替換算調整勘定	—	43
その他の包括利益合計	484	99
包括利益	8,461	3,148
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,461	3,147
非支配株主に係る包括利益	0	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,510	6,269	61,376	△4,644	69,511
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	13	13			27
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	12	11			24
剰余金の配当			△2,167		△2,167
自己株式の取得				△0	△0
親会社株主に帰属する当期 純利益			7,977		7,977
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)					
当期変動額合計	25	25	5,809	△0	5,861
当期末残高	6,536	6,295	67,185	△4,645	75,373

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△79	△79	0	69,433
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				27
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)				24
剰余金の配当				△2,167
自己株式の取得				△0
親会社株主に帰属する当期 純利益				7,977
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	483	483	0	484
当期変動額合計	483	483	0	6,345
当期末残高	404	404	1	75,779

当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,536	6,295	67,185	△4,645	75,373
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	6	6			12
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)	13	13			27
剰余金の配当			△3,195		△3,195
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△18			△18
親会社株主に帰属する当期純利益			3,047		3,047
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	19	0	△147	△0	△127
当期末残高	6,556	6,296	67,037	△4,645	75,245

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	404	—	404	1	75,779
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					12
新株の発行 (譲渡制限付株式報酬)					27
剰余金の配当					△3,195
自己株式の取得					△0
連結子会社株式の取得による持分の増減					△18
親会社株主に帰属する当期純利益					3,047
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	56	43	99	△0	99
当期変動額合計	56	43	99	△0	△28
当期末残高	461	43	504	1	75,751

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	10,938	4,251
減価償却費	508	515
のれん償却額	141	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8	△28
為替差損益 (△は益)	103	△257
減損損失	852	291
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△1,773
投資有価証券売却損益 (△は益)	△192	△995
投資有価証券評価損益 (△は益)	662	51
デリバティブ評価損益 (△は益)	148	358
暗号資産評価損益 (△は益)	△188	—
暗号資産売却損益 (△は益)	—	△542
和解金	—	3,300
売上債権の増減額 (△は増加)	135	2,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20	224
仕入債務の増減額 (△は減少)	△0	27
未払金の増減額 (△は減少)	△413	△827
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,430	△1,384
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	139	△168
前受金の増減額 (△は減少)	△381	335
前払費用の増減額 (△は増加)	130	29
その他	705	△1,111
小計	14,747	4,927
利息及び配当金の受取額	74	31
利息の支払額	△7	—
和解金の支払額	—	△3,300
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	196	△4,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,010	△3,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△93	△160
有形固定資産の売却による収入	718	0
無形固定資産の取得による支出	△8	△29
投資有価証券の取得による支出	△3,697	△3,747
投資有価証券の売却による収入	2,207	3,647
暗号資産の売却による収入	—	758
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の取得による支出	△1,234	—
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	28	—
関係会社出資金の払込による支出	△344	—
関係会社出資金の払戻による収入	10	65
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△929
敷金及び保証金の回収による収入	146	285
先物決済による収入及び支出 (△は支出)	△166	△338
その他	△201	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,640	△10,588
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△554	—
長期借入金の返済による支出	△90	—
株式の発行による収入	27	12
配当金の支払額	△2,162	△3,192
連結範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出	—	△20
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,780	△3,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△103	294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,486	△16,599
現金及び現金同等物の期首残高	55,822	65,308
比例連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	344
現金及び現金同等物の期末残高	65,308	49,052

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(営業投資有価証券及び投資事業組合への出資金について)

当社は、2021年3月17日の取締役会の決議により投資育成事業を主要な事業の一つとして取り組むことを決定いたしました。

連結貸借対照表上、固定資産の「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を流動資産の「営業投資有価証券」に計上し、また、2021年3月17日以降の取引から連結損益計算書上、営業外損益に計上していた当該有価証券に係る損益を「売上高」及び「売上原価」に計上する方法を採用しております。また、当社グループが管理運営する投資事業組合への出資金に係る会計処理について、投資事業組合の資産・負債及び収益・費用を当社グループの出資持分割合に応じて計上する方法を採用しております。

これらに伴い、従来「投資有価証券」に計上していた投資育成目的の有価証券を「営業投資有価証券」に組替えた結果、当連結会計年度末において「営業投資有価証券」に7,591百万円を計上し、併せて「現金及び預金」が525百万円増加しております。

また、連結損益計算書の売上高が171百万円増加、売上原価が190百万円増加、販売費及び一般管理費が16百万円増加し、営業利益が35百万円減少しております。

さらに、連結キャッシュ・フロー計算書上、「営業投資有価証券の増減額（△は増加）」に△1,773百万円を計上し、「比例連結に伴う現金及び現金同等物の増加額」に344百万円を計上しております。

なお、経常利益及び税金等調整前当期純利益への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は事業別のセグメントから構成されており、「エンターテインメント事業」、「投資育成事業」の2つを報告セグメントとしております。「エンターテインメント事業」は、主にスマートフォン向けゲームの開発・運営を行っております。「投資育成事業」は、主にIT関連・エンターテインメント企業等を対象とした投資を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部取引及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

当社グループにおける報告セグメントはモバイルサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エンター テインメント 事業	投資育成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	36,953	171	37,125	—	37,125
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,953	171	37,125	—	37,125
セグメント利益又は損失 (△)	6,447	△129	6,318	2	6,320
その他の項目					
減価償却費	515	—	515	—	515

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象となっていないため、記載しておりません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

投資育成事業を主要な事業の一つとして取り組むことに伴い、第2四半期連結会計期間より、「投資育成事業」を独立区分し、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

また、「モバイルサービス事業」は「エンターテインメント事業」に名称変更しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	592.81円	591.86円
1株当たり当期純利益	62.45円	23.82円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	62.22円	23.77円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部の合計額 (百万円)	75,779	75,751
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	1	1
(うち非支配株主持分 (百万円))	1	1
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	75,778	75,750
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	127,829,277	127,987,490

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,977	3,047
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	7,977	3,047
期中平均株式数 (株)	127,741,940	127,948,756
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	469,265	296,571
(うち新株予約権 (株))	(469,265)	(296,571)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株 当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。